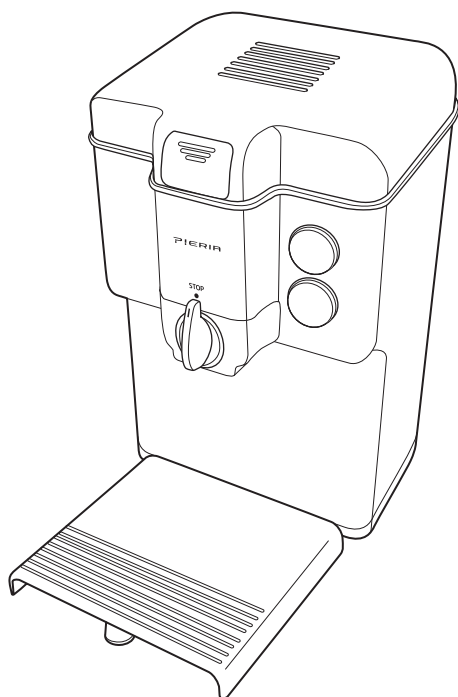


全自動コーヒーメーカー CMU-501

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意 P. 2~3
各部の名称とはたらき P. 4
正しい使いかた P. 5~ 8
お手入れと保存 P. 9~ 10
修理・サービスを依頼する前に P. 11
アフターサービスについて 裏表紙
保証書 裏表紙



仕 様

品 名	コーヒーメーカー
型 名	CMU-501
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	500W
満水容量	約200mL (水タンク容量)
抽出方式	ドリップ式
電源コード長さ	約1.0m
外形寸法	約 幅13.6× 奥行16.0× 高さ22.2 cm
質 量	本体 1.4kg (カップ台含む)
付 属 品	計量スプーン × 1、取扱説明書・保証書 × 1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意


- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)




図記号の意味と例

	㊚は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、㊚の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

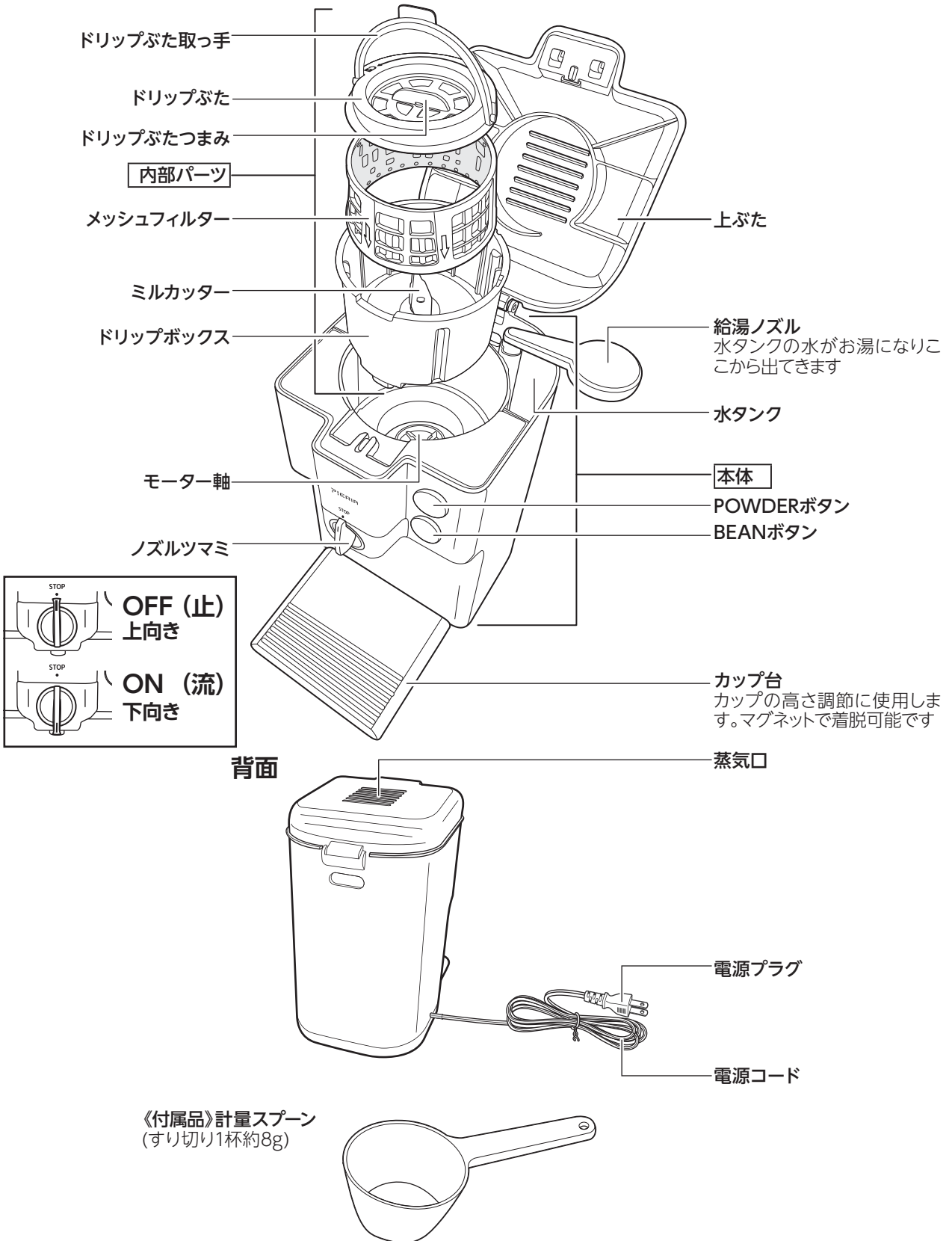
警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火する原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合は拭き取る。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	カーテンなどの可燃物の近くで使わない。 火災の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。
	強い衝撃を与えない。落下させない。 故障・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

 禁止	お手入れや持ち運び、保存のときは、本体が冷めてから行なう。 火災・やけどの原因になります。	 禁止	決められた容量以上のコーヒー豆、粉・水を入れない。 コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因になります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になります。		上ぶたの周辺にふきんなどをかけてふさがない。 変形・変色の原因になります。
	ドリップ中や使用直後、高温部に手を近づけない。特に乳幼児の手が触れないように、充分注意する。 やけどの原因になります。	水タンクに水以外のものを入れない。 高温のものを入れると、水タンクが変形することがあります。 水以外の液体を入れると、水タンクが不衛生になります。	
	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になります。	 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になります。
	ドリップ中や使用直後は蒸気口に触れない。 やけどの原因になります。		

各部の名称とはたらき



正しい使いかた

初めて使うとき

- 本体以外、内部パーツを洗って、十分に乾かしてください。
 - 次ページ以降の使用方法を参考に内部パーツを取りはずして洗い、正しく取り付けてください。
- 水タンク内は、ぬるま湯に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとってください。
- 初めて使用するときや、長い間使用しなかったときは、コーヒー豆を入れないで2~3回水だけで以下の「準備」「コーヒーを淹れる」をしてから使用してください。
- 使い始めはプラスチックの臭いがすることがありますが、しだいに臭いは少なくなります。

準備

1. 本体を正しく設置する

- 水平な熱に強い場所に設置してください。
- 水平な場所以外に設置すると、不意に上ぶたが閉まったり、お湯がこぼれたりしてとても危険です。

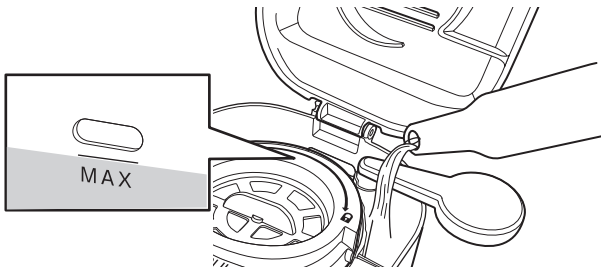


電源コードを本体ではさまないように注意する。
電源コードを傷めて感電や火災の原因になります。また、転倒させて破損やけがの原因にもなります。

2. 上ぶたの手前のボタンを押して上ぶたを上げ、給湯ノズルを右に移動させ、水タンクに使用するカップに合った量の水を入れる

使用するカップで直接入れると水タンクの外側にこぼれやすいため、水さしなどに入れかえて注いでください。

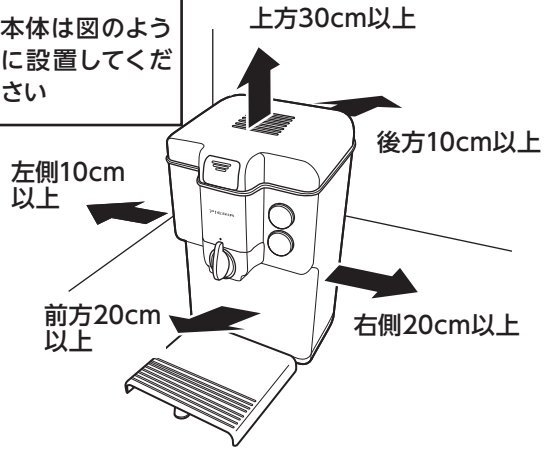
- ※ 抽出されるコーヒーの量は、コーヒーに吸収されるため、入れた水の量よりも少なくなります。
- ※ 背面部分にあるMAXの線を超えないように水を入れてください。多く入れすぎると、MAX線の上の穴から水が出ます。



- 蛇口から直接水タンクに水を入れない。
- 常温の水以外のものを水タンクに入れない。
不衛生になり、故障の原因になります。
- ※ 水タンクにはお湯を入れないでください。
- ※ MAX線で200ml

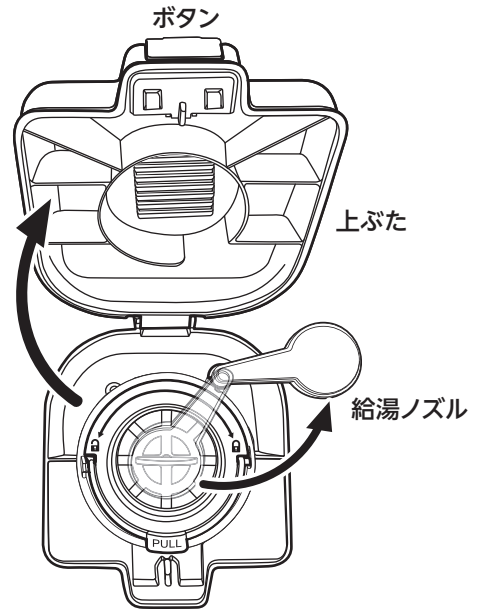
本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください。

本体は図のように設置してください



• 次のような場所では使用しないでください。

- カーテンや壁、家具など、可燃物の近く
- 熱に弱い敷物の上
- 本体は、安定した水平な台などの上に設置してください。
- 本体が熱くなったり、上ぶた周辺から湯気が出たりしますので、周囲から少し離してお使いください。



正しい使いかた (つづき)

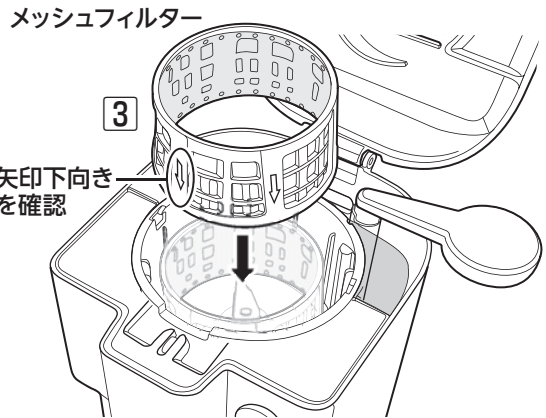
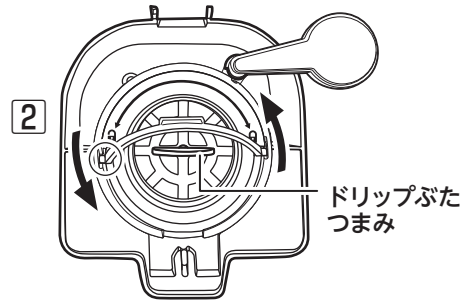
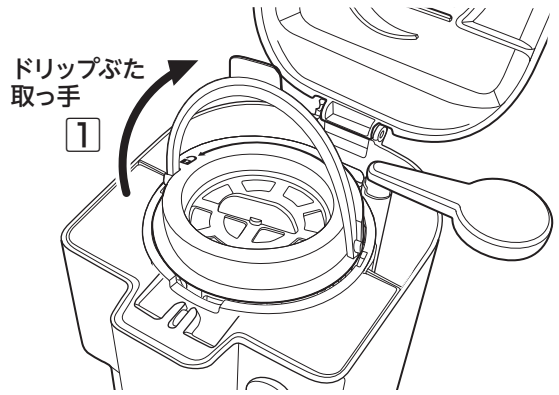
3. ドリップぶた取っ手を上げて①、ドリップぶたつまみを左に回して (反時計回り)、ロックをはずし、ドリップぶたをはずす②

ドリップぶたを少し回すと、左側のドリップぶた取っ手の端の部分が見えて、取りはずすことができます。

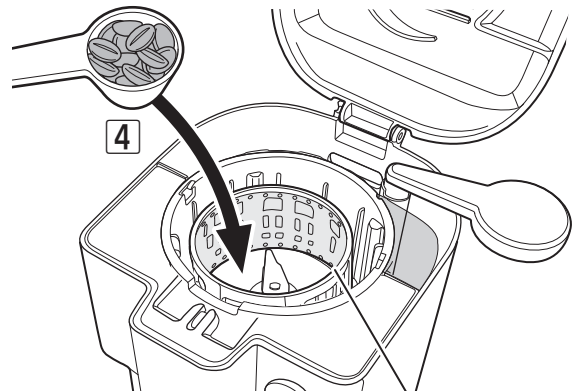
4. メッシュフィルターを取り付けて③、コーヒー豆またはコーヒー粉をメッシュフィルターの内側に入れる④

メッシュフィルターをドリップボックスの内側に取り付けてください。メッシュフィルターは側面に描かれた矢印を下方向にして取り付けます (向きが逆であると固定されずにぐらぐらします)。

確認後、付属の計量スプーンを使用して、コーヒー豆またはコーヒー粉をメッシュフィルターの内側に入れてください。



付属の計量スプーン (コーヒー豆またはコーヒー粉)



メッシュフィルター

コーヒー豆・コーヒー粉を入れる量

計量スプーンを目安

コーヒー豆の場合: 約8g (山盛り)

コーヒー粉の場合: 約8g (すり切り1杯)

コーヒー豆とコーヒー粉と水の量の目安

杯数(計量スプーン)	1杯	山盛り1杯	2杯
コーヒー豆の量	約8g	約12g	約16g
コーヒー粉の量	約8g	約12g	約16g
水の量	約150ml	約180ml	約200ml
できあがり※1	約120ml	約150ml	約160ml
調理時間※2	約3分	約3.5分	約4分

※1 できあがりの量は、水がコーヒー豆や粉に吸収されるため、水の量よりも少なくなります。

※2 BEANボタンを押したとき(ミルク+ドリップ)の時間です。PO WDERボタンを押したとき(ドリップのみ)は20秒程度短くなります。

⚠️注意

- メッシュフィルターは確実に取り付ける。
- メッシュフィルター・ドリッパーボックス・ドリッパーぶたなどは十分に乾燥させる。湿気(水気)が残っていると、ミルクが正常に豆を挽き切れないことがあります。
- メッシュフィルターの内側以外にはコーヒー豆・コーヒー粉を入れない。故障の原因になります。
- コーヒー豆・コーヒー粉は適切な量以上入れない。正常に動作せず、故障の原因になります。
- コーヒー粉は中挽き以上のものをご使用ください。ペーパーフィルターよりメッシュ穴が大きいためにコーヒー粉の微粉などが落ちてきます。

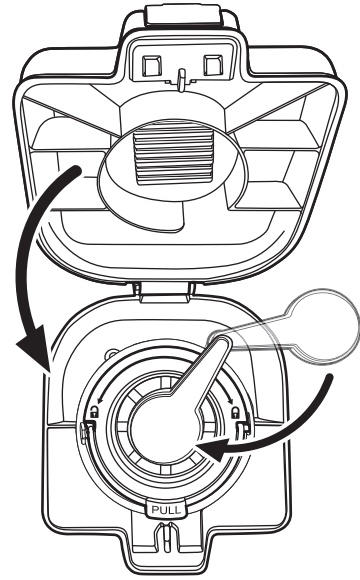
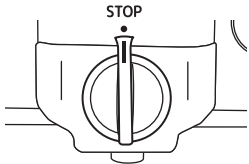
5. ドリップぶたを取り付け、給湯ノズルをドリップぶたの上に移動させ、上ぶたをしめる

手順2の逆手順でふたをしめます。

特にドリップぶたは確実に取り付けてください。ドリップぶたのロックがかかっていないと、上ぶたがしまらないことがあります。

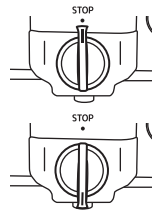
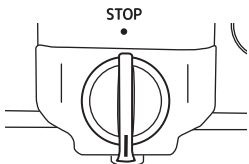
6. 本体手前のノズルつまミが上向きになっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む

コーヒーカップなどがノズルの下になくときは、ノズルつまミを上向きにしてください。



コーヒーを淹れる

1. ノズルの下にコーヒーカップなどを置き、本体手前のノズルつまミを下向きにする



OFF (止) 上向き

ON (流) 下向き

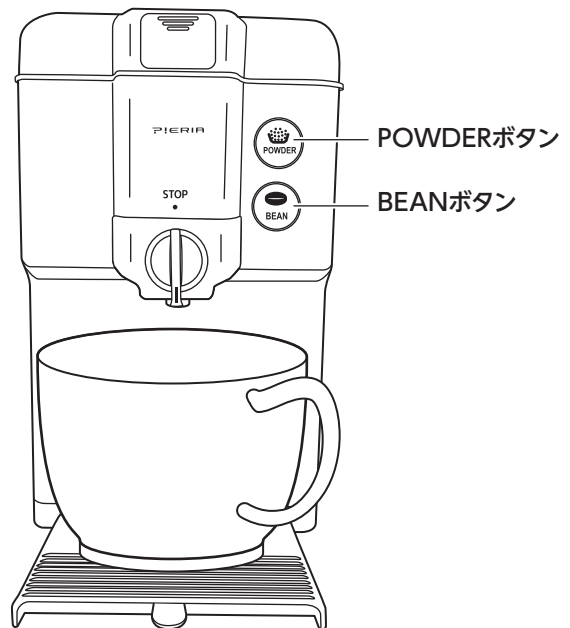
2. カップ台にカップをのせる

カップ台は凸凹の部分が手前にくるように取り付けてください。他の付けかたをすると磁石がくっつかないことがあります。

3. コーヒー豆を入れたときはBEANボタン、コーヒー粉を入れたときは、POWDERボタンを押す

コーヒーカップの高さによっては、カップ台をはずして対応してください。

- **BEANボタン**を押すと、ドリップボックス内のミルカッターが回り(青ランプ点滅)、コーヒー豆を挽き始めます。ドリップが始まると青ランプは点灯に変わります。
- **POWDERボタン**を押すと、青ランプが点灯し、そのままドリップが始まります。
- 熱めのコーヒーを飲むときは、あらかじめカップを温めておいてください。

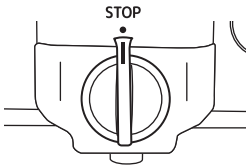


正しい使いかた (つづき)

⚠注意

- ミルカッター回転中、揺れるときは、本体を押さえる。
- ドリップ中は、上ぶたの周辺から蒸気が出るので、顔や手を近づけない。やけどの原因になります。
- 周辺の温度（室温）が低いと、ノズルから出るコーヒーが冷えるので注意する。

4. ドリップ途中、コーヒーカップを替えるときは、ノズルつまみを上向きにして、ドリップを一時的に止める



ドリップを一時的に止める時間が長くなると、内部ではドリップが続けられていますので、あふれることがあります。

強制的にドリップを終了させる

ドリップ中、青色ランプが点灯しているBEANボタン・またはPOWDERボタンを押して青色ランプを消灯させると、強制的にドリップを終了させることができます。

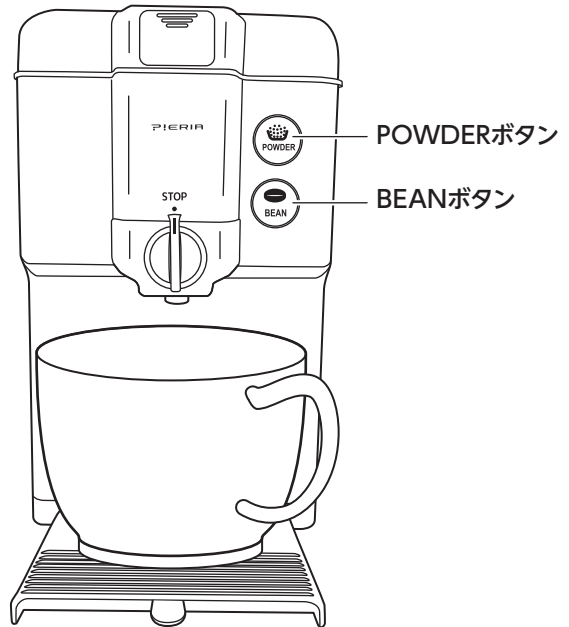
5. ドリップが終了すると、青ランプが消灯する

青ランプが消灯しても、内部にはコーヒーが残っていますので、お湯・蒸気が完全に止まってから、コーヒーカップを取り出してください。

6. ノズルつまみを上向きにして、電源プラグをコンセントから抜く

本体が熱くなるため、10分以上待ってからお手入れなどを開始してください。

※10分以上置かずに再給水すると水蒸気の発生によって火傷する原因になります。



お手入れと保存



警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電やけが、やけどの原因になります。

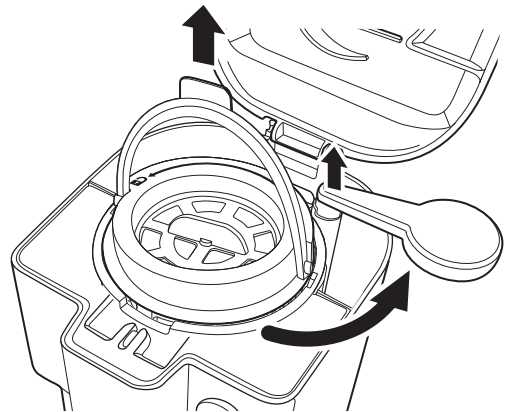
お願い

- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。感電・故障の原因になります。特に底部や電源スイッチ、電源コード関係のところは注意してください。
- もし底部やスイッチ、電源コードに水がかかってしまったときは、必ず乾いた布でふきとり、十分に乾燥させてから使用してください。

コーヒーを淹れたあとのお手入れ

電源プラグをコンセントから抜いて10分以上経過して、十分に本体が冷えたことを確認してからお手入れを開始してください。

- 上ぶたをあけて、給湯ノズルを右に移動させて、ドリップぶたの取手を持って引き上げると、本体からドリップボックス・ミルフィルター・ドリップぶた・(ドリップ済のコーヒー粉)を一度に取りはずすことができます。そのままドリップ済のコーヒー粉を処理して水洗いしてください。



注意 お手入れをするとき、ミルカッターには十分注意する。
ケガの原因になります。

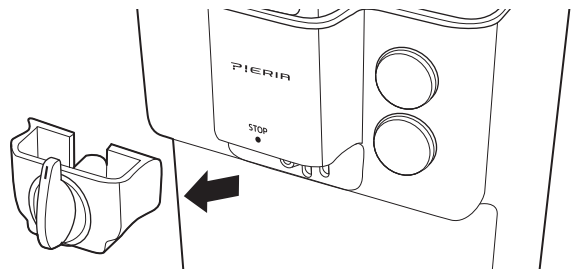
- 給湯ノズルは上に引くことにより本体から取りはずすことができます。
- ノズル・ノズルつまみの部分も、手前に引くことで取りはずして、お手入れすることができます。お手入れ後は乾燥させたあと、元に戻してください。

本体

ぬるま湯か台所用洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

本体以外（内部パーツ・給湯ノズル・カップ台）

丸洗いができます。ただし、樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。



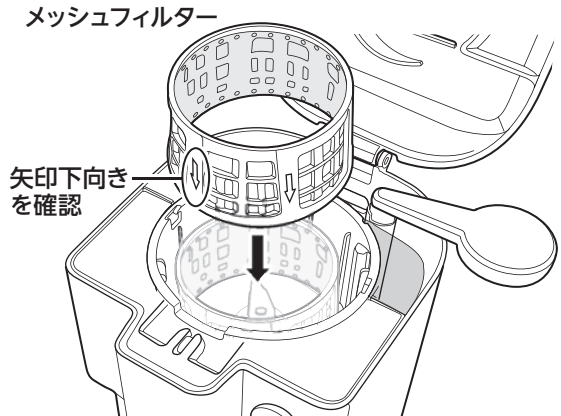
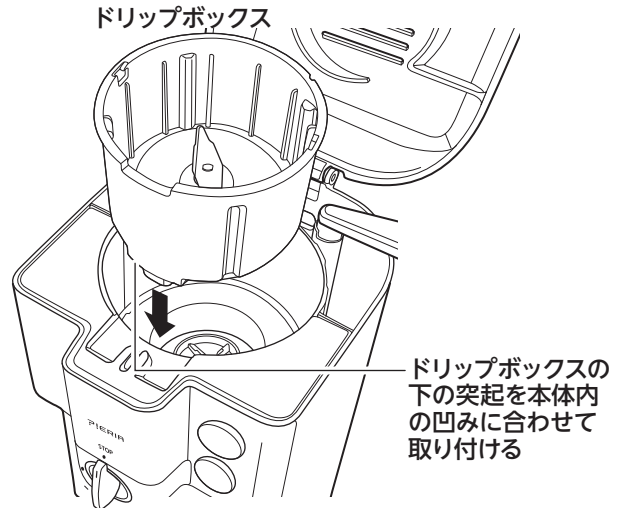
お手入れと保存 (つづき)

お手入れをしたあと

必ずすべて組み立てて保存してください。
正しく取り付けておくことにより、汚れや紛失を防ぐことができます。

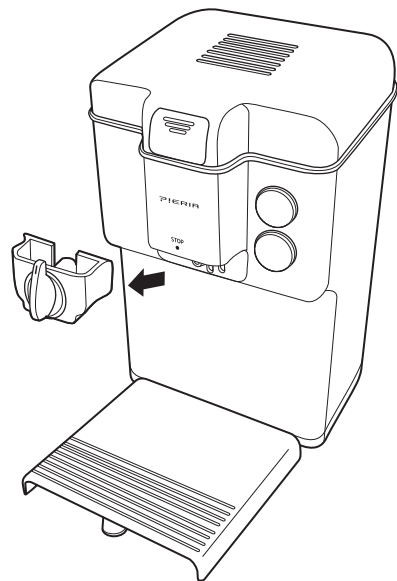
保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。



お湯の出が悪くなったとき

ノズルつまみ部を取りはずし流水で洗ってください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
ドリップできない コーヒーができない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	プラグを正しく差し込む
	・水タンクに水が入っていない	水タンクに水を入れる
	・上ぶたがきちんととじられていない	上ぶたをきちんととじる
	・水タンクに水以外を入れた	充分お手入れをして、水が流れるようにしてください
コーヒーがあふれる	・コーヒー粉か水を入れすぎている	適切な量を入れてください
	・適切なコーヒー粉を使用していない (細ひき粉を使用している)	適切なコーヒー粉 (中ひき粉、粗ひき粉) を使用する
	・ノズルツマミを上向きにしたままになっている	ノズルツマミを下向きにする
コーヒーがぬるい	・寒冷地など厳しい環境で使用している	あたたかい場所で使用する
	・コーヒーカップをあたためていない	コーヒーカップをあたためてから、 コーヒーを注ぐ

長年ご使用のコーヒーメーカーはよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しななかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。

故障・修理についてのご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

【受付時間】9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

※ メールでのお問い合わせ、仕様などのご確認は、ドウシシャ公式オンラインストア【ドウシシャマルシェ】の家電サイトをご参照ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ



DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>

こちらの
QRコードを
読み込んで
ください